

2019年度 第7回理事会 議事録

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

日 時：2020年 2月7日(金) 12:59 ~ 17:10

会 場：日本代協 会議室

出席者：全理事数 18名、出席理事数 17名、出席監事数 2名(杉本監事、渡辺監事)

会長 金子智明氏は、議長席につき、出席理事数の確認を行い、本理事会は定款第 33 条に基づき、有効に成立した旨を報告して開会を宣し、直ちに議事に入った。

会長挨拶骨子

・業務報告

1/7 業界の賀詞交歓会に参加した。今年も金融庁の幹部、損保協会長他役員、各損保の社長・各役員と挨拶や情報交換ができた。

1/25 ぼうさい探検隊マップコンクール表彰式に、小田島 CSR 委員長はじめ委員と一緒に参加した。

全国 47 都道府県の小学校、子ども会、児童館、少年消防団など 594 団体から 2,541 作品が寄せられ、16,492 人の児童が参加した。団体数については、前回から 28 団体増加し、過去最多となった。キッズリスクアドバイザー - 賞には、渡辺監事のお孫さんの原尾島小学校が入賞し、マップ内にも「岡山保険センター」の社屋が掲載されていた。また、今年度マップを用いた危険区域の行政への要望が 36 件あり、うち 8 件の行政側の改善がみられるなど官民一体となった取り組みが構築できている。

・毎週日曜日に週の TV 録画をまとめて見ている。

中村哲さんの追悼番組を視聴した。

「武器ではなく命の水を」を理念に、その国と地域の現状と課題を認識し、水があれば多くの病気と帰還難民問題を解決できるとして、福岡県の山田堰をモデルにして建設していた、クナル川からガンベリー砂漠まで総延長 25km を超える用水路を 7 年間かけて完成させ、約 10 万人の農民が暮らしていける基盤を作った。

改めて理念の大切さを感じた。

・仲間づくり推進の推進策として、アクティブキャンペーンがスタートしている。

また、コンサルティングコ - スの募集期間締め切り(2/14)まで僅かである。

各理事、特に地域担当理事に置かれましては地元の現状と課題を再度認識し今年度事業計画の取り組みをお願いしたい。

・近頃、いろいろなルートで制度問題に関する意見・要望があげられているが、日本代協としては、活力研の場などの心ある対話を通じて、制度問題に関する課題の解決を図るという方針に変わりはない。代協ルート以外の行事参加に関して、代協の名称や役職を使用することの無いよう、くれぐれも注意願いたい。

本日は、次年度の事業計画案の審議が中心となるが、今年度の三冠王獲得や各代協の事業計画の遂行に関しても、闊達な論議をお願いする。

〔決議事項〕

1. 2020年3月開催 2019年度臨時総会日程・運営・付議事項等の審議

・事務局より、資料に基づき、2020年3月開催の2019年度臨時総会(1)日程、(2)運営、(3)付議事項について提案があり、項目ごとに審議採決の結果、全会一致で承認された。

【決定したこと】

(1)日程

開催日	2020年3月10日(火)
会場	損保会館2階大会議室(東京都千代田区神田淡路町2-9)
日程	10:00～ 臨時総会
	13:00～13:45 政連通常代議員会
	14:00～18:00 全国会長懇談会(17:00～18:00 特別セミナー)
	18:10～19:30 懇談会(有志・立食予定) 損保会館3階

(2)総会運営

総会議長候補者(1名)、議事録署名人(2名)の選出

- ・議長候補者 小野 嘉一郎 氏(山梨県代協会長)
- ・議事録署名人 下村 文則 氏(福井県代協会長)
中原 公一 氏(宮崎県代協会長)

(3)2019年度臨時総会付議事項

- 第1号議案 2020年度(第57期)事業計画案承認の件
- 第2号議案 2020年度(第57期)正会員会費額案承認の件
- 第3号議案 2020年度(第57期)収支予算案承認の件

・ついで(4)付議事項の審議について、会長および事務局より、第1号議案から第3号議案の提案があり、審議採決の結果、第1号議案については以下の修正を行った上で、第2号～第3号議案については提案内容どおりで臨時総会に付議すること、並びに、表記の微修正等に関しては事務局に一任することが全会一致で承認された。

【決定したこと】

(4)2019年度 臨時総会付議事項審議

- 第1号議案 2020年度(第57期)事業計画案承認の件
 - .事業計画策定にあたっての基本事項
 - .代理店・募集人の資質向上
 - .損害保険の普及と消費者保護に向けた取り組み
 - .実効性あるCSR活動の展開
 - .組織力の強化
 - .活力ある代理店制度の構築
 - .対外的広報活動の展開
 - .代協会員への支援・サービス・情報の提供

.コンベンション

.法人運営

〔資料 審 1.〕2020 年度（第 57 期）日本代協事業計画案（P.1-12）

（事業計画案の主な修正箇所）

P.3 13 行目 （第一段階 3,000ID・目標 5,000ID）を削除

P.7 4 行目 1.各代協・支部の強化 を 1.各ブロック・代協・支部の強化に修正し、
P.8 の（4）新入会員オリエンテーションの実施、（5）ブロック協議会の活動の強化：
の部分を 1.内に移動、編集

P.8 25 行目 組織委員会を理事会に修正

P.12 下から 2 行目 代協事務局職員研修の実施の日程は 6 月 26 日（金）

なお、修正した 2020 事業計画案は理事会議事録と同時に書庫に登載する。また「臨時総会招集のご通知」は 2 月 20 日頃に対象者あて発送する。

（検討事項）

日本代協アカデミーの展開に関する「目指せ、三冠王」の目標水準に関しては、2019 年度の取組結果を検討したうえで設定する。

第 2 号議案 2020 年度(第 57 期) 正会員会費額案承認の件

- ・年額として、当年度の 12 月末日における社員（日本代協正会員）を構成する加盟代理店の数 1 店につき 1 万円として計算した額とする。
- ・入会金は零円とする。

第 3 号議案 2020 年度(第 57 期)収支予算案承認の件

- ・財務委員会からの提案が承認された。（財務委員会議事録を参照）
2020 年度概算予算案・2019 年度決算見込（別冊席上配布）

2. 役員の定数ならびに資格審査委員会の設置

- ・会長より、役員の定数ならびに資格審査委員会の設置および委員の選任について提案があり、審議・採決の結果、全会一致で承認された。

【決定したこと】

- ・役員の定数は理事 18 名以内、監事 3 名以内とする。
- ・役員選任規則第 4 章第 7 条（設置）、第 8 条（委員）に則り、資格審査委員会を設置する。
また、以下の 3 名を資格審査委員に選任し、委員会は WEB 会議で行う。
佐々木雅之(北海道代協) 阪本善彦(群馬県代協) 山中 尚(大阪代協)

〔報告事項〕

1. 事業計画の進捗状況

(1) 仲間づくり推進、日本代協アカデミー利用者 ID 登録、コンサルティングコース受講者募集、重点取組項目等の目標達成に向けて

- ・日本代協役員の訪問支援もあり、新春セミナーや賀詞交歓会が盛況に開催されている。トータルプランナー認定者紹介、PR 動画の放映、日本代協アカデミーの情宣なども行っている。

- ・目標意識高く取り組んでいる代協は、三冠王獲得等へ向けた最後の詰めに躍起になっている。福井が4冠獲得でゴールド三冠、鳥取、高知、奈良、岡山、大阪、福岡、沖縄、やまがたが三冠王を確定させている。各代協のラストスパートが楽しみな状況である。
- ・その他の参考となる取り組み
 - ・保険会社社員向けの代理店賠償セミナー開催（大阪、兵庫）各代協の「収支バランスのチェック」の実践、セミナーテーマの工夫（5-10年後を考える会など）周年記念行事の企画（埼玉、東海・北陸）損保協会支部と各代協とのランチミーティング企画[両組織の信頼関係の増進と認識共有のため]（東関東・上信越）日本代協アカデミーの活用指導（北陸）OneTeam一体感の醸成[九州8県の会長会、理事通信等]（九州）
- ・各代協の総会日程の確認と対応役員の調整をお願いする。地域担当理事の予定が合わない場合は、副会長はじめ他の理事が代理出席する。
- ・「会員のニーズ把握や好取組取材候補先推薦」のブロック協議会議題への盛り込みが2019年6月理事会で決議されたが、各ブロック協議会で活発な論議が見られない。再度、事前の議題案内や運営について確認いただきたい。

〔地域別委員会別資料〕(P.1-28)

(2) 各委員会諮問・推進事項等

企画環境委員会

- ・木下委員長より、資料に基づき、諮問・推進事項に関する現状と課題、対策について説明があり、確認、共有された。

【主な内容】

- ・「代理店と賠償責任」(音声入り)に関しては、ADRに寄せられた声などを盛り込み、まさかの時をイメージしやすくして提供したが、QRコードの添付などさらに活用しやすくした事例も出ている。募集文書に該当しないかなどChubb社とチェックを行い、汎用版の作成を行う。
- ・保険会社社員に対する代理店賠償セミナーの企画・開催に注力する。
- ・共通化・標準化に関しては、既提出の91項目に東京代協からの追加17項目を追加し、内容を精査している。提言の可否に関する委員会案の取りまとめに入っている。
- ・統廃合が進んでいるが、2/18の活力研で各社の戦略、方針について論議する。
- ・募集環境の確認においては、ポイント還元や抽選プレゼント等で特別利益の提供に該当する可能性がないかなどの報告が多く上がった。また、特定修理業者が暗躍している情報等も共有した。損保協会、鑑定人協会、各損保と連携を深め、不正・不適切な保険請求に対峙していく必要がある。

〔地域別委員会別資料〕 企画環境委員会報告シート(P.29)

教育委員会

- ・石川委員長より、資料に基づき、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。

【主な内容】

< 損保大学課程の運営・検証・改善(含む認知度向上・魅力アップ策) >

- ・受講者募集では、30代協が目標を突破した。代申社別ではSJNK社、MS社が牽引しており、昨年の74%のペースで推移している。ラストスパートの奮励をお願いします。なお、2/21（金）に結果速報を配信する。
- ・損保トータルプランナーの認知度向上に向け、損保各社に代理店認定要件のマスト化や認定者割合・認定者実数の基準の設置を働きかけるとともに、会員の「3つの基本行動」の定着へ向け、推進策を検討する。（含むバッジ着用、写真入りカード型認定証の携帯・提示。
なお、バッジの注文・管理はシステム構築の詰め段階であるが、3月にずれ込む見込みである。写真入りカード型認定証はさらに先になると予想される。）

<日本代協アカデミーの展開>

- ・日本代協アカデミーは、顧客本位の業務運営を基軸として積極的に経営努力を重ねる会員を支える仕組みである。PTを再編し、教育コンテンツPT、情報提供コンテンツPT、推進PTを設置する。仕組みや活用事例の情宣、ならびにコンテンツの拡充・内容の充実を図る。
- ・改めて、各委員会やブロック協議会、ならびに代理店経営サポートデスクと連携し、好取組事例や業界最新情報の収集、研修メニュー等に関する要望等のヒアリングを行い、コンテンツに反映させる。情報収集に関しては、会員直送NETアンケートも3回実施しているが、各代協からの好取組会員情報をブロック協議会テーマで取り上げ、推薦いただきたい。「代協会員の、代協会員による、代協会員のための仕組み」である。好取組事例のほか、必要なコンテンツや既存制度に関する意見・要望も確認いただきたい。
- ・好取組事例の取材・収録に関しては、広報委員会と連携し、正副委員長間で、取材・収録スキルの修得も行った。全委員に横展開する。
- ・三冠王の目標値に設定に関しては、今年度の取組結果をみたくうえで検討する。
- ・「年間教育・研修計画」の策定に当たり、学習ガイドと学習モデル（エクセル版）を作成したので、まずは内容を確認のうえ、地域で周知いただきたい。次年度計画を立案する今の時期がベストタイミングと考える。

〔地域別委員会別資料〕教育委員会報告シート（P.30）

日本代協アカデミーネットチャンネルガイド（P.31-46）

日本代協アカデミー学習ガイド（P.47）

日本代協アカデミー学習モデルケース（P.48-51）

組織委員会

- ・中島委員長より、資料に基づき、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・情報と熱が伝わる組織づくりの推進に関しては、各代協の好取組の共有を行っている。各理事にも共有いただきたい。
兵庫：保険会社社員向けの代理店賠償説明会を愚直に継続開催。+11店増。
京都：理事会メンバーで退会数を予測した入会目標を設定。オープンセミナーでは、非会員の参加者を確実に把握して、組織委員と理事会メンバーが連携フォローする。
東京：企画した行事への動員に関するチェック・アクションを綿密に行っている。
支部長は組織委員も兼任という体制は、組織活性化につながるものとする。
- ・委員会参加者に役に立つ情報については、以下を共有した。

- ・代理店募集人の教育のあり方について情報共有した。日本代協アカデミーの活用に関する具体例を共有した。自社独自で開発する場合はロード・コストが百万単位でかかるのに対して、日本代協アカデミーのコンテンツを有効活用すればコストは低く抑えられ、その分をBCP対策やサイバー対策に回せる。また、保険会社が用意したコンプラと商品研修だけの履修では、最低基準のクリアだけで、顧客本位の業務運営の遂行という意味では、お客さまから選ばれる代理店とは言えないということも共有した。福岡の募集人数百名の会員が日本代協アカデミーの活用に踏み切る予定である。代理店賠償だけでなく、日本代協アカデミーは「代協の魅力」となる。
- ・「損保クラウド」等の導入の必要性も共有した。エモネットに感染した取引先があり、間一髪で難を逃れることができた。

〔地域別委員会別資料〕組織委員会報告シート（P.52-65）

CSR委員会

- ・小田島委員長より、資料に基づき、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・1月25日（土）にぼうさい探検隊マップコンクールの表彰式に参加した。金子会長はじめ、CSR委員が参加した。全体では594団体から16,492人の児童が参加し、2,541作品が提出された。代協ルートでは、178団体・384マップ（昨年度は122団体・274マップ）の提出、2,468人の児童の参加と大幅増となった。三冠王の課題項目の一つとなったことで全国的に取り組みが進み、全代協稼働目標を達成した。また、37代協が1冠を確保した。
 なお、キッズリスクアドバイザー賞（日本代協賞）は、岡山県岡山市立宇野小学校原尾島チームの作品に贈呈した。また、入賞は3作品、佳作14作品であった。記念品を各代協あて送付している。
- ・大阪代協から提言の「ぼうさい探検隊の推進リーダー養成」もについては、支援ならびに横展開を検討する。また、防災フェスタ等の行事で、過去のぼうさい探検隊の作品の展示や作成講座の開催を行うブース設置を行っている代協もあり、こうした好取組は横展開できる。（大分）
- ・サイバーセキュリティ対策の啓発活動については、40代協がセミナー開催済、1代協が実施予定、6代協が未定という状況である。年度内のセミナー開催を働きかける。警察、IPA（独立行政法人 情報処理推進機構）、システムベンダー等との連携を推進する。
- ・ハザードマップ、防災情報の取り方など様々なところで取り上げられている。代理店の実務に関連付けて、整理し、案内する。

〔地域別委員会別資料〕CSR委員会報告シート（P.66）

広報委員会

- ・野原委員長より、資料に基づき、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・「リニューアルしたホームページ」は、2/17にリリースとなる。細部のチェックに注力いただいた事務局に改めて感謝申し上げる。
 画面は、デザイン面で可読性の高いカラーや文字サイズを採用しており、訴求力のあるスライ

ドバナー、多階層のプルダウンメニュー、サイドバーによる導線といった機能も採用している。また、レスポンス対応でスマホ・タブレット等での可読性の高い表示となっており、日本代協事務局にて、容易にコンテンツの登録・更新が可能な設計となっている。

現状各代協からメール・FAXで提出されている活動報告(地域社会貢献・地球環境保全・各種研修等)に関して、二段階認証による管理画面からデータ投稿する方式に変更する仕様とした。各代協の負担軽減の観点から、入力項目を選択式メインの設計とし、入力方法マニュアルの動画も提供する予定である。

なお、各代協のホームページについても事務局でパトロールを行い、各代協ごとに要修正箇所に関する案内を2/7にメール配信した。確実に修正対応いただきたい。

- ・「PR企画」に関しては、1月1日より「日本代協 YouTube チャンネル」で順次配信しており、順調にアップされ、視聴回数も伸びている(岐阜は1万回超)。3月20日まで24回に分けて公開するが、改めてチャンネル登録の推進ならびにSNSでの拡散をお願いする。

<参考>インプリメント社報告:

2019年度企画の直近状況(1/1~1/19)につき、視聴回数28,131回・総再生時間72,270分と報告があり、高い水準で視聴されているとの説明があった。平均視聴時間も2分34秒と安定。

視聴者の年齢と性別では、45歳以上が全体の6割以上、男性が7割を占めており、昨年に比べ女性の率が上がっているとの説明があった。視聴端末はスマホが多く、ゲーム機での視聴も増えている。

止むを得ない事情により、一部代協で再撮影の対応があった為、DVDの提供は2/7頃になる予定。

2018年度企画は、視聴回数163,283回・総再生時間6802.2時間・平均視聴時間2分29秒等となっており、しっかり視聴されている。

「代協の魅力伝える動画」の構成案の検討:動画制作において必要なことはストーリー性ではなくキーワードの選定であることを共有し、2月中旬を目途に日本代協正副会長のインタビューを敢行することとした。インタビューから得られたキーワードをイメージしてベースの映像を制作し、directで共有することとした。肝の部分に関しては3パターン制作し、3月末完成を目指す。

- ・「みなさまの保険情報」に関しては、4月号の企画案を決定した。1面に「ながら運転」の罰則強化を掲載する。また、会員購読率の向上を目指して推進策を検討する。

〔地域別委員会別資料〕広報委員会報告シート(P.67)

PR企画(3分でわかる保険のことば)ちらし(P.68)

動画公開スケジュール(P.69)

ビジョン委員会

- ・事務局より、諮問・推進事項について報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・会員資格と会費モデルの提供については、各代協の現状ならびに予定を把握し、意見交換を続けてきたが、改めてイレギュラーケースが多々あることも確認できた。基本的な考え方を整理した「会費資格・会費の考え方」(案)を作成したので、次回3/9の理事会で審議することとしたい。各代協とも情報共有をお願いする。

- ・魅力ある事業を行う上での留意点として、運営の手順を示した。年次事業計画の策定、予算化(必要経費の算出と収入額の予測)、計画実現性の検証、予算確保 予定通り実行、予算確保困難 規模縮小して実行または断念、繰越金を充当して実行、. . . の場合は会費体系の見直しを検討

- ・会員になる場合の資格の考え方、会員資格における課題（メリット・デメリット）、会費の考え方、正会員の会費、正会員の構成比、会費シュミレーション、会員資格・会費を変更する場合の手続きについて記載している。考え方の基軸を記載の方針で固めたいと考えている。
- ・大規模災害時の鑑定補助制度創設に向けた検討については、大規模風雪水害の損害サポート制度については各損保ごとに始まっているため、制度創設の要望案は大震災に限ることとした。
 - ・地震保険契約者の自己申告と写真に基づく損害調査のサポートとする。
 - ・損害区分は小半損・大半損・一目全損までとする。
 - ・対象事案は木造建物（含む2×4工法）及び鉄骨造建物、家財（生活用動産）とする。
 - ・費用については応分の費用負担を要請する。
 - ・制度の運用については必須研修の受講や代理店の資質（BCP策定・訓練や要員代替性等を要件）をオープンにしたルールを制定する。
- ・「代理店経営サポートデスク」の対応事案が30件になった。相談内容は他代理店にとっても参考となるため、個人情報に注意しながら開示する。これによりサポートデスクの認知度向上と利用者の増加を図る。

比較的規模が小さい（従業員20名くらいまで）会員向けに、BCP策定簡単ガイド（PDF）、事業計画継続（BCP）シート（エクセル）を提供する。大規模代理店は保険会社のコンサル会社の制度の利用などをお勧めする。ガイドとシートを提供するだけでは、浸透が不十分となることが考えられるため、来年度から2年間、SOMPOBSS社と連携し、セミナー・ワークショップを開催することにしたい。（事業計画案の総会承認が前提）

〔地域別委員会別資料〕ビジョン委員会報告書シート（P.70）

2. 前回理事会（2019.12.9開催）以降の主な業務報告

（1）中間監査実施報告

- ・事務局より、資料に基づき、中間監査の実施について報告があり、確認、共有された。

【主な内容】

- ・12月11日（水）2019年度中間業務監査および監事会を開催した。

業務執行に関しては、監事より特別な指摘事項はなかったが、総会の運営要領について留意点の指摘があった。

経理監査における報告を踏まえ、次のとおり協議等を実施した。

新規業務委託案件

業務委託先が法人か個人かにより、源泉徴収処理手続きが異なるため、業務契約のあり方について協議した。

消費税に係る経費処理

消費税改定に合わせて、軽減税率導入が実施され、経理処理が複雑となったが、新旧税率、軽減税率について適正に処理されている。

〔資料 報1.〕2019年度 第1回監事会議事録（P.1）

(2) 2019 年度 仲間づくり推進 (正会員増強運動) 1 月末状況

- ・事務局より、資料に基づき、「正会員増強運動 1 月末状況」について報告があり、確認、共有された。

【主な内容】

- ・1 月末状況は、11,889 店(年度入会累計 274 店、退会累計 530 店、合計 256 店)
- ・代申社ごとの増減は、T N 90 店、S J N K 89 店、M S 23 店、A D 18 店、A I G 16 店、日新 11 店と合併・統廃合の影響もあり、二桁減少、その他も共栄火災の +2 店を除き、全社で減少となった。
- ・2/7 時点、年間入会目標達成代協は、やまがた、福井 V2、京都 V6、奈良 V6、大阪、岡山、鳥取、徳島 V4、香川、高知、福岡 V16、佐賀、宮崎、沖縄 V2 の 14 代協。
- ・2/7 時点、「目指せ、三冠王！」の取組みでは、福井が 4 冠獲得でゴールド三冠、鳥取、高知、奈良、岡山、大阪、福岡、沖縄、やまがたが三冠王を確定させている。

〔資料 報 2.〕仲間づくり推進 (正会員増強運動) の実施報告 (P.2-3)

〔席上配付資料〕「目指せ、三冠王！！」ニュース (席上配付資料 P.5)

(3) 日本代協アカデミーの展開

- ・事務局より、資料に基づき、日本代協アカデミーの展開状況が報告され、確認、共有された。

【主な内容】

- ・2/4 (火) 集計の利用者 I D 登録数は 773 会員、2,871 名。目標達成率は、23.6%と低迷している。「日本代協アカデミー」は、顧客本位の業務運営で真剣に経営努力を重ねる会員を支える日本代協独自の教育の仕組みであることを周知する必要がある。保険会社から要請のある最低基準レベルのコンプラ・商品研修だけで終わることなく、ベストプラクティスも共有しながら、募集人ごとの年間教育・研修計画を策定し、理解度のエビデンスまで残す必要がある。

「年間学習計画モデルケース」「コンテンツ推奨学習ガイド」の活用を推進する。

〔席上配付資料.〕日本代協アカデミー利用者 I D 登録状況 (席上配付資料 P.4)

(4) 損害保険大学課程

- ・事務局より、資料に基づき、コンサルティングコース受講申込状況、損害保険トータルプランナーの認定状況及び更新状況について報告があり、確認、共有された。

【主な内容】

コンサルティングコース受講申込状況

- ・12 月 1 日 ~ 2 月 14 日までを申込受付期間としてコンサルティングコースの受講申込を受付中である。2 月 7 日時点入金済 897 名、入金待 60 名計 957 名と目標 840 名の 114.0%である。昨年比較では 74%ペースで進捗。

代申社別では、代理店内認定者実数や割合を要件化に盛り込んだ S J N K が先行 (301 名/957 名と 31.4%を占有) しており、M S 25%、T N 18%、A D 12%と続いている。

30 代協が自主目標達成、12 代協が達成率 70%以上である。早期に目標達成をお願いする。

損害保険トータルプランナーの認定状況等

- ・12 月末時点 損害保険トータルプランナー 15,909 名 (+ 4 名)

認定有効者数	14,119名(18名)
代理店検索機能登録	3,990店(+ 36店)
損害保険プランナー	84,904名(+ 280名)
有効認定者数	41,417名(+ 136名)
ゴールドカード保有者	6,634名(+ 26名)

〔席上配付資料.〕1.コンサルティングコース受講申込状況 0207(席上配付資料P.2)

2.代申社別地域別受講申込状況 0206(席上配付資料P.3)

〔資料 報6.〕損害保険大学課程各コースの認定状況等(P.8-9)

(5) 日本代協アドバイザー諮問会議の開催

・事務局より、資料に基づき、日本代協アドバイザー諮問会議の実施報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・1月15日(水)14時~17時30分、日本代協アドバイザー諮問会議を開催した。
テーマ:「今後の環境変化を踏まえた地域専業系代理店の経営のあり方、並びに、日本代協の今後のあり方に関するご提言」
- ・別途、議事メモを作成したので確認いただきたい。
- ・提言への対応に関しては、正副会長の論議で検討する。

〔席上配付資料.〕日本代協アドバイザー諮問会議資料(別冊配布)

日本代協アドバイザー諮問会議議事録(別冊配布)

(6) 2019年度 活力研 実施報告

・事務局より、資料に基づき、2019年度の第2回活力研の開催概要の報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・開催日時:2020年2月18日(水)15:00~18:00 日本代協会議室にて開催予定。
- ・出席予定者:あいおいニッセイ同和、損保ジャパン日本興亜、東京海上日動、三井住友海上のリテール営業推進担当部長、日本代協正副会長、企画環境・ビジョン委員長、事務局。
- ・テーマ「保険会社のチャネル戦略と代理店の対応」について意見交換する予定である。
論議するテーマに関しては、事前質問(席上配付資料)を送信し、回答依頼している。
- ・論議内容については、改めて議事メモでお伝えする。

〔資料 報7.〕2019年度第2回活力研開催のご案内(P.10-11)

〔席上配付資料.〕2月18日開催 日本代協第2回活力研に向けたご検討依頼事項(事前質問)

(7) 2020年度の代理店賠償の改定

・事務局より、資料に基づき、2020年度の代理店賠償の改定について報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・補償内容、保険料等の変更はない。賠償審査会も従来通り開催する予定である。

〔資料.〕2020年度代理店賠償の改定(席上配付資料P.6)

(8) 代理店経営サポートデスクの相談対応状況

・事務局より、資料に基づき、代理店経営サポートデスクの相談対応状況の報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・労務管理、今後の代理店経営、BCPの策定(含む事業継続力強化計画認定)、合併と出向、セミナー開催、体制整備(含む情報セキュリティ)などの相談が入っている。1月末時点で30件の相談があり、順次対応している。

〔資料 報 8.〕 1. 「代理店経営サポートデスク」相談対応状況 (P.12-14)
2. 「こちら代理店経営相談室！」収録状況 (P.15-17)

3. その他

(1) 保険業法改正対応

- ・保険業法改正対応ならびに業界の最新情報については資料で確認いただきたい。

〔資料 報 9.〕 1. 損保各社との新年挨拶および支援要請状況 (P.18)
2. 1213 保毎記事 楽天保険グループ情報 (P.19)
3. 水災リスクに関する楽天損保情報 (P.20)
4. 0115 日経記事 メガ3 損保HD 社長コメント (P.21)
5. 0107 日経記事 生保業界品質共通基準 (P.22)
6. 野村総研 金融 IT フォーカス抜粋記事 (P.23-24)

(2) その他

・その他の資料説明

- ・事務局より、以下の資料に関する情報提供があり、共有された。

2019年の自然災害で被災された代協会員への義援金受付を案内している。趣旨に賛同される方(代協単位)から、1/29~2/28の期間に指定の口座に振り込みいただく形式である。

〔資料 10.〕 1. 令和元年台風15号、19号および10/25大雨による災害に係る各種損害保険の事故受付件数等 (P.25)

〔席上配付資料.〕 義援金の受付について (席上配付資料 P.1)

〔資料 10.〕 2. ふうたのワンポイントレッスン part4 vol.9、vol.10 (P.26-29)

〔資料 10.〕 3. 尾籠塾 代理店成長塾ちらし (P.30)

〔資料 10.〕 4. 保険簿 forBusiness 資料 (P.31-33)

〔資料 11.〕 1. 国民年金基金見込客紹介業務取扱契約締結状況 (P.34)

〔資料 11.〕 2. 国民年金基金ちらし (P.35-36)

〔資料 12.〕 1. 各代協会長および会員紹介 (P.37-42)

〔資料 12.〕 2. JCM実績報告(1.12月買取車両上位10、2.2019年度実績) (P.43-45)

〔資料 12.〕 3. 0129日経記事 わりかん保険 (P.46)

- ・損保協会が実施した「中小企業の経営者・役員を対象としたサイバーリスク意識調査」の結果が公表された。

<https://www.sonpo.or.jp/cyber-hoken/data/2019-01/>

- ・オリンピック開催を控え、今後ますますサイバー攻撃の脅威に晒されることが予測されている。自社の対策をした上で、お客様へ情報提供や対策提案等が必要である。自社対策の選択肢として、各保険会社も推奨している「損保クラウド」導入を強く推奨する。

2020年3月まで初期費用無料キャンペーン実施中。

<https://support.ntt.com/insurance-agt>

〔席上配付資料.〕 0205日経記事 サイバー被害専用保険で (席上配付資料 P.7)

「脆弱性診断サービス」のご案内 (SOMPO CYBER SECURITY) (席上配付資料 P.8)
SOMPO SHERIFE (席上配付資料 P.9)

〔監事講評〕

渡辺監事から以下の通り監事講評があった。

- ・午前中からの財務委員会から始まり長丁場の会議でお疲れ様。

今回の審議事項は2020年度の事業計画案等に関するものがメインであったが、次年度の事業内容について闊達な論議があり、総会に諮る準備が整ったと判断する。

特筆すべき点は、運営体制が弱小な代協が低額負担で全国で同じレベルのセミナーを開催できる仕組みを準備したことがあげられる。画期的なことであり、運営の悪循環を断つきっかけとなると考える。

- ・今年度から「目指せ、三冠王！」も取り組み易い形式となり、盛り上がりを確認できる。今までの2倍3倍の代協が入賞できると思う。各理事におかれても、2019年度事業計画の完遂へ向け、さらなるご尽力をお願いする。
- ・2/18開催される活力研の意見交換テーマの詳細を聞いて、期待感が膨らんだ。議事メモを全国の会員に周知し、地に足をつけた顧客本位の業務運営の推進の後押しをしてほしい。
- ・3月の臨時総会の準備もよろしくをお願いする。

以上

< 諸会議開催予定 >

2020年2月～2020年12月のスケジュール（案）

損保会館の予約状況ならびに会議体のあり方の改定状況によっては、日程の変更がありますので、予めご了承ください。

2019年度	2月7日(金)	9:15～10:15	正副会長打合せ	日本代協 会議室
		10:30～12:00	財務委員会	
	2月18日(火)	13:00～17:00	第7回理事会 テーマ:事業計画案、他通常議題	会場 伊豆栄 梅川亭
		18:00～	損保協会との懇談会(損保協会主催)(正副会長と3理事)	
2020年度	3月9日(月)	15:00～17:30	活力研(正副会長、企画環境・ビジョン委員長)	日本代協 会議室 懇親会あり
		17:45～20:00	懇親会	
	3月10日(火)	10:30～12:00	正副会長打合せ	日本代協 会議室
13:00～17:00		第8回理事会		
2020年度	5月7日(木)	10:00～12:00	臨時総会	損保会館 2F(大会議室)
		13:00～18:00	政連通常代議員会・第2回全国会長懇談会	
	5月8日(金)	18:10～19:30	同上懇談会(有志・立食・会費制を予定)	会場 損保会館3F 食堂
		16:00～17:30	損保労連との懇談会(正副会長、委員長が参加対象)	
	5月8日(金)	17:45～20:00	懇親会	日本代協 会議室 会場 未定
		10:30～12:00	正副会長打ち合わせ	
	6月15日(月)	13:00～17:00	第1回理事会 テーマ:通常課題	日本代協 会議室
		10:00～	来賓ご挨拶 / 通常総会	
	6月16日(火)	11:30～12:00	新体制理事会(2020年度第2回理事会)	損保会館2F(大会議室) 確定
		13:00～14:00	政治連盟臨時代議員会	
		14:00～17:00	第1回全国会長懇談会	
		17:15～18:15	セミナー(予定)	
	6月17日(水)	18:30～19:30	同上懇談会(有志・立食・会費制を予定)	損保会館(3F)
		9:30～16:00	新任会長オリエンテーション	
	6月26日(金)	9:30～12:30	新体制理事打合せ(終了後新任会長オリエンテに合流)	日本代協会議室 有楽町リファレンス205会議室
		10:00～16:50	代協事務局職員研修	
	7月3日(金)	17:15～19:30	情報交換会	有楽町リファレンス205会議室
		15:30～17:30	業界紙懇談会(会長、広報担当副会長、広報委員長)	
	7月8日(水)	17:45～20:00	懇親会	日本代協 会議室 懇親会あり 会場 未定
		10:30～18:00	新体制理事合宿	
7月9日(木)	9:30～12:00	新体制理事合宿	日本代協 会議室 会場 未定	
	16:00～17:30	損保7社懇談会(正副会長、教育・組織委員長)		
7月10日(金)	17:45～20:00	懇親会	日本代協 会議室 (懇親会 無)	
	10:30～12:00	正副会長打ち合わせ		
7月17日(金)	13:00～17:00	第3回理事会 テーマ:通常議題	日本代協 会議室 懇親会あり 会場 未定	
	17:00～18:00	セミナー		
9月14日(月)	15:00～17:30	活力研(正副会長、企画環境委員長)	日本代協 会議室 懇親会あり 会場 未定	
	17:45～20:00	懇親会		
	10:30～12:00	正副会長打合せ		
9月15日(火)	13:00～17:00	第4回理事会 テーマ:通常課題	日本代協 会議室	
	11:00～17:00	第1回ブロック長懇談会		
	17:00～18:00	情報提供:好取組事例の紹介		
10月15日(木)	18:15～19:30	同上懇親会(有志・会費制)	損保会館 2F(大会議室) " 会場 損保会館3F 食堂	
	9:30～10:45	正副会長打ち合わせ		
	11:00～17:00	第5回理事会 テーマ:通常議題		
12月7日(月)	18:00～	損保協会との懇談会(日本代協主催)	日本代協 会議室 会場 未定	
	10:30～12:00	正副会長打合せ		
12月8日(火)	13:00～17:00	第6回理事会 テーマ:通常議題	損保会館 大会議室 会場 損保会館3F 食堂	
	11:00～17:00	第2回ブロック長懇談会		
	17:00～18:00	セミナー		
		18:10～19:30	同上懇親会(有志・会費制)	

以上をもって、議長は理事会の終了を宣し、午後5時10分閉会した。
上記理事会議事録を作成し、議長並びに議事録署名人が記名押印する。

2020年2月7日

議長 会 長 金 子 智 明 印

議事録署名人 監 事 杉 本 恭 三 印

議事録署名人 監 事 渡 辺 眞 一 印